

補助事業番号 24-4-028

補助事業名 平成24年度（復興支援）被災者に対する生活支援活動」 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 こころの応援団

## 1 補助事業の概要

### （1）事業の目的

大きなストレスや不安を募らせる避難者に対し、当会スタッフが継続的に寄り添い、少しでも不安を取り除き、避難者の心のケアを行うため、群馬県内の2次避難先の借上げ住宅や南相馬市の応急仮設住宅を、今までの活動で信頼関係を築き上げた当会スタッフが定期的に訪れ、いわゆる災害弱者といわれる高齢者や障害者の孤立を防ぎ、今まで以上の悲劇を引き起こさないことを目的とします。

### （2）実施内容

昨年に引き続き、南相馬市の被災者に向けて心のケアを目的に、傾聴活動を中心に生活支援活動を行ってきました。

当法人は東日本大震災直後より、群馬県に避難され現在も群馬に避難を継続されている方々と現在は南相馬市の仮設住宅に暮らす方々、双方に向けて訪問事業やサロン事業、お便りなどを通して活動を行ってきました。

この双方とも東日本大震災から2年が過ぎ、今もなお、自宅に帰れない状況の中、いつになったら安心して暮らせるのかという不安は解消されず、心に重くのしかかっています。

一方、被災者以外の人々は、日々の生活に追われ、震災関連の報道や記事が減少する中、震災のことを忘れがちです。今年に入り、ボランティア数も急激に減少し、被災者もそれを感じ取っています。

このままでは、被災者の孤立化が心配されます。

そこで、群馬県内の被災者に対し、活動後半には、被災者同士や、被災者と被災者以外の人とをつなげる活動にも力を注いできました。そのひとつが、被災者を他の被災者宅へ連れ立って伺い、そこで共有できる話しを存分にしてもらう活動です。他にも、被災者以外の人々との交流会や、別の被災地で暮らす仮設住宅住民との交流会などを行ってきました。

また、南相馬市では、昨年より、避難指示解除準備地域に指定された方々は仮設住宅から日中自宅へ帰り、夕刻には再び仮設に戻ってくる不自然な生活を繰り返しています。その一方、依然として居住制限地域に指定されたままの方々は帰宅をあきらめているかのようです。同じ仮設住宅に暮らす中、少しずつ個々に変化が見られ、ここでも孤立化が心配され、今後はますます、心のケアが必要になると予想されます。そこで、毎月のサロン事業や訪問事業だけでなく、仮設住宅の方々のコミュニ

ケーションをより一層楽しく行えるよう、時には他の地域へ一緒に出かけたり、当法人が南相馬と同じように対応している気仙沼市仮設住宅へ南相馬の仮設の方々をお連れし、交流会を開催したりしました。その他にもグランドゴルフ場を造る計画を仮設の方々と一緒に考えたりもしました。

また、福島県の仮設では被災者に現地スタッフをお願いしたことで、病院への通院や買い物等の生活支援においてもきめ細やかな対応が可能となり助かりました。

このような様々な活動の基本は被災者に寄り添い、丹念にお話を聴くことでした。こちらの思いだけでなく、被災者の心を尊重し、お互いが信頼しあえることを大切にしてきました。

活動内容報告 URL <http://www.npo-kokoro.com/houkoku/sinsai/sinsai.html>



## 2 予想される事業実施効果

東日本大震災直後より継続的に活動を行ってきたことで、被災者との信頼関係もより深くなり、被災者宅に伺ったり、仮設に伺う時ばかりでなく、被災者から現在の状況や心の様子を連絡くださるようになり、少なくとも当法人が孤立化を食い止める役割を果たす一端となっていると思います。

この活動の目的である心のケアの成果は数字としては表しにくい問題ですが、長期対応することで、その方の変化や、その方の様々な感情を当法人スタッフに話して下さった内容や再びお会いすることを望まれていることなどから推察するしかありません。ですが、皆さん少しずつですが、自ら動き始め、将来を考え始めています。そして、ほんの少しですがその将来に希望を見始めているようにも感じます。

その表れのひとつが、グランドゴルフ場計画です。仮設の皆さんで実行委員を作り、役割分担し、実行しようと行動を起こしてくださいました。今年4月には群馬からのボランティアも募り仮設の方々と一緒に第1回目の作業も終え、その後は仮設の方々に作った実行委員会中心で整備作業も行ったという連絡が当法人に入りました。

仮設の方々が自ら自分たちのために行動を起こし、協力することをスタートさせたことは素晴らしいことだと当法人は喜ぶとともに、支援を継続することを決意しました。

### 3 本事業により作成した印刷物等

本事業により作成した印刷物は該当無し

本事業を紹介した印刷物

だんだん通信14号 <http://www.npo-kokoro.com/tsushin/tsushin%2014.pdf>

だんだん通信15号 <http://www.npo-kokoro.com/tsushin/tushin%2015.pdf>

だんだん通信16号 <http://www.npo-kokoro.com/tsushin/tsushin%2016.pdf>

### 4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 特定非営利活動法人 こころの応援団

住 所： 〒379-1403

群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉1514-1

代 表 者： 会長 千代田すみ子（チヨダ スミコ）

担 当 部 署： 事務局 高桑 春雄（タカクワ ハルオ）

電 話 番 号： 0278-66-0999

F A X： 0278-66-1000

E - m a i l： [off@npo-kokoro.com](mailto:off@npo-kokoro.com)

U R L： <http://www.npo-kokoro.com>